

留学報告書:TNI クロスカルチャープログラム 2024(2024/03/12-2024/03/22)

建築学専攻 学年 修士 1 年 学生番号 233816 三品亮祐

○留学の日程(学期開始/終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください)

日程	スケジュール
3 月 12 日 (火)	現地到着
3 月 13 日 (水)	オリエンテーション・タイ式 BBQ
3 月 14 日 (木)	4 つの寺院巡り・カラオケ
3 月 15 日 (金)	タイと日本の比較・タイ料理作り・ナイトマーケット
3 月 16 日 (土)	マッサマンカレー・タイマッサージ・郵便局・マハナコーン・飲み会
3 月 17 日 (日)	タイの街並み見学・休日
3 月 18 日 (月)	ムエタイ・タイ語研修
3 月 19 日 (火)	ラマヤナウォーターパーク・ニューハーフショー・ナイトマーケット
3 月 20 日 (水)	パタヤ見学・MBK センター
3 月 21 日 (木)	クロスカルチャープレゼンテーション・お別れ会・ICONSIAM・クルーズディナー
3 月 22 日 (金)	MBK センター
3 月 23 日 (土)	日本帰国

留学報告レポート

留学生生活全般について、①留学目的の達成度②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化、③今後の長期留学の意欲等を含めて 2000 字程度で報告してください。

①留学目的の達成度

私はこの留学で 3 つのことを知りたいと考え参加した。

1 食文化の違い

タイを代表する食べ物はカオマンガイやトムヤムクン、カレー等を想像すると思う。私はこの留学中に様々なタイ料理を体験したが、基本的にチリという辛い唐辛子を使ったものとパクチーなどの香草が入っているものが非常に多い。たとえば、日本でもよく食べられているラーメンにもパクチーが入っており、卓上調味料には砂糖やナンプラー、チリ、酸っぱいソースが置いてある。これらを組み合わせて食べるため、日本の味とは全く違った。日本食とは出汁を使ったものやしょっぱいものが多くあるため、タイと日本では味付けが大きく異なることが分かった。また、デザートではココナッツを使った料理が多く見られ、ヨーグルトにも入っているものが売られていた。タイではサソリ、ドリアン等の日本では食べることでできない様々な体験もできた。

2 LGBTQ への考え

タイはゲイやレズビアン、トランスジェンダーなど性に対する多様性について寛容な国であると耳にすることが多い。タイの現地の学生に LGBTQ に対してどう思うか聞いたところ、「タイはゲイが最も多く、レズビアンが次に多い。だがその人の考え方であるため、自由である。」と言っていた。タイのヘテロセクシュアルの人たちは性的趣向に対する偏見が日本に対して少ないように思えた。だからこそ、同性愛の割合が高いのかもしれない。また、大学のプログラムはニューハーフショーを見たが、男性とは思えないほどきれいで自己表現豊かな人たちが踊っていた。この人たちを見て人間らしさがあり、素敵な方だと思った。

3 建築物や街並みの違い

私は寺院を見るのが好きである。タイの寺院は赤や金などの色が使われており、きらびやかな建築であり、中にある大仏までも金色であった。材料は石やコンクリートなどを使用していた。日本の白や黒を使ったシンプルな建物とは対照的であった。また、都市の建築物は都市の建築物はマハナコンタワーをはじめとする高層ビルや大規模な複合ショッピング施設など、東京のように都市が発展していて驚かされた。

都市計画は、バンコクの街の中に川が流れており、その周りに寺院と高層ビルが混在することで仏教を身近に感じられる。バンコクは日中が暑くなるためか、夜も街中がにぎわっていた。

今回で海外研修は 2 回目になるが、日本と異なる文化圏で過ごすことはとても刺激的なものであった。

②留学、学習、国際理解への意欲に関する留学前後の意識の変化

1 英語学習の重要性

タイで日本人留学生をもてなしてくれた学生は英語を話すことができ、中には日本語を話せる人もいて語学レベルの高さに驚かされた。私は英会話をあまりしたことがなかったため、現地学生に自分の考えを伝えることができずに悔しい思いをすることや仲を深めることが難しい人もいた。私自身ずっと英語ができるようになりたいと思っていたなかなか勉強せずにいたことを留学期間中に後悔した。帰国してからは英会話を定期的に行って次に現地学生と会うときは話せるようになりたい。

2 タイ人のやさしさ

タイは「微笑みの国」と言われるくらい笑顔が素敵な人たちで非常に優しく、他人を思ってくれる民族だった。現地の学生は初日から僕たちのことを笑顔で迎えてくれ、プログラム期間中は僕たちが楽しめるように気づかいをしてくれることが多く、安心して楽しむことができた。お別れの際には、ビデオメッセージや寄せ書きをつくってい

くれた。タイに行き、人を思いやる気持ちや笑顔の大切さを改めて学んだ。

3 アニメとカラオケの重要性

タイは日系企業が多く進出している影響があるためか、日本の文化が垣間見えた。その中でもタイの若者の中でアニメの人気の高さに驚かされた。私もアニメが好きであったため、現地の学生と会話で盛り上がる事ができた。また、タイではカラオケが人気の遊びの1つであり、音楽を通して学生と仲良くなるきっかけをつかむことができた。アニメや音楽などの共通の話題になりやすいものは仲良くなるうえで大切なツールになることを知った。

③今後の長期留学の意欲

私は大学院の1年生のため、学生生活は残り1年のみとなり、長期での留学をすることは困難である。だが、海外に行くと新しい価値観や日本ではすることのできない体験などをすることができるため、様々な文化に触れたいと考えている。そこから自分の生まれ育った日本の良さを知ることができると考えている。来年の春休みはバックパッカーとしてはじめての海外1人旅をして、自分の見聞を広げたいと考えている。